

中央大学学員会 49年白門会会報

第1号

発行日 平成17年12月1日
 発行人 山崎 厚太
 発行所 中央大学学員会49年白門会
 印刷所 (有)東光美術印刷

東京都八王子市東中野742-1 中央大学法学部事務室 TEL. 0426-74-3117

会員数 (2005年11月末現在) **260名。**

目標!! 会員500名!! 一人が一人紹介すれば500名になります!!

49年白門会のホームページ ↓

<http://www7.plala.or.jp/hakumon49/>

CONTENTS	
1 ページ	★「これからのキーワードは『交友』」 宮川 保
2 ページ	★2005年総会議案報告
3 ページ	★総会・懇親会・二次会報告
4 ページ	★会員からのエッセー「スポーツで一言」
5 ページ	
6 ページ	★「友へのメッセージ」 高橋和幸 ★事業部掲示板
7 ページ	★「49年白門会」会員名簿
8 ページ	★ホームカミングデー報告 ★会費納入のお願い ★編集後記

49年白門会は、7月の総会をもって創立50周年の良き日を迎えることができました。平成11年4月に誕生した設立準備委員会のメンバーはわずか数人、それが今や会員数250人を超える大きな組織になりました。中央大学学員会にあっても、積極的に活動している支部として、年々その評価を高めており、喜ばしい限りです。

さて、本会の歩みと共に私たちも五十台の半ばを迎え、さまざまな変化がある節目の年齢になってまいりました。青春時代に次いで、将来のことを考える時期なのかもしれません。言い換えれば、新たな人生設計にとりかかる年齢になったということではないでしょうか。

私事で恐縮ですが、昨年6月に30年勤務した職場を早期退職しました。



(題字・葛西 聖司)

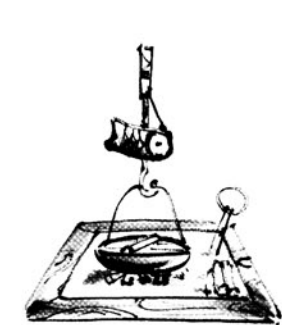
この生活の変化の中で痛感することは、人間関係の大切さです。幸い、若い頃から趣味を持ち、その仲間との交流は変わる事なく続き、退屈することがありません。また、本会の諸活動を通して会員たちと共にする時間は、リフレッシュの原動力ともなっています。

多様な職業や経験を持つ方と出会い、和気藹々と、あるいは若者のように論を戦わせることができる、そんな場を共有できるのは同期会ならではのようです。

「交友の輪」を広げよう

誠に僥倖ではありますが、一足早くリタイアした者として申し上げれば、生涯現役を目指す方、退職後は悠々自適を考える方、人それぞれではあります。が、人生設計の中に「交友」を忘れないでいただきたいと思えます。青春時代と違って、交友は多彩かつ厚重なものとして、手に届くところにあるはずで、後には自ら望めばいいでしょう。

仕事に就いている時は、ややもすれば人間関係は厄介なもの。けれど、



49年白門会

これからの
 キーワードは「交友」

49年白門会副会長 宮川 保

辞めた後に最も必要なのは、人間的な触れ合いの場を数多く持つことだと思います。駿河台で過ごした学生時代の想い出を共有し、利害関係の無い会員間の交友がより重要なものになってくることは、経験からも自信を持って言えることです。

昭和49年3月に卒業した同期生は7千人を数えます。これからは、さらに多くの仲間が本会に集い、今後、年を重ねるにつれ、益々盛会となっていくことを信じて疑いません。そのためには、幹事の任を全うし、本会の各種行事、広報活動を通じて入会者の確保に努めていく所存です。と同時に、会員の皆さん一人一人が同期の仲間を誘ってください、本会が拡大・充実していくことを願ってやみません。

【49年白門会2005年総会】

2000年7月に設立した「49年白門会」も今年で5周年を迎え、5周年記念総会が7月23日（土）に後楽園にある中大理工学部校舎で行われました。4つの議案は全員の拍手で承認され、これからは10周年を目指し、新たな気持ちで進むことを決意しました。

第1号議案

2004年度活動

報告について

- 1・2004年6月20日（日）
中央大学「留学生の集い」参加
（新宿・京王プラザホテル：5名参加）
- 2・2004年7月3日（土）
中央大学49年白門会2004年総会・懇親パーティー
（中央大学理工学部校舎：21名参加）
- 3・2004年8月7日（土）
納涼彫形船の会
（小松屋：16名参加）
- 4・2004年9月28日（日）
第13回中央大学ホームカミングデー参加
（中央大学多摩校舎：16名参加）
- 5・2004年10月16日（土）
ハイキングの会「隅田川七福神散策」（10名参加）
- 6・2004年11月13日（土）
第3回映画鑑賞会「キャットウーマン」（新宿ミラノ座4名参加）
- 7・2005年1月29日（土）
2005年新年会
銀座「Shimizu高松」：34名参加
- 8・中央大学49年白門会会報の発行
第8号：2004年6月10日（木）
第9号：2004年12月2日（火）
- 9・中央大学49年白門会幹事会活動
第15回：2004年6月8日（月）
第16回：2004年9月17日（火）
第17回：2004年9月27日（月）
第18回：2004年10月7日（火）
第19回：2005年2月1日（火）
第20回：2005年3月3日（木）

第2号議案

2004年度収支計算書

（2004年4月1日～2005年3月31日）

〈収入の部〉（単位 円）

費目	決算額
会費収入	166,000
懇親会収入	580,000
雑収入	11,289
収入合計	757,289

〈支出の部〉

費目	決算額
通信費	89,890
事業費	70,350
事務費	0
懇親会費	649,981
交際接待費	100,000
雑費	10,762
支出合計	920,983
当期収支差額	△163,694
前年度繰越金	1,782,106
次年度繰越金	1,618,412

私たちが会計監事は、当会の第4期（2004年4月1日から2005年3月31日まで）の決算報告書（収支決算書及び貸借対照表）及び財産目録について監査を行いました。監査の結果、決算報告書及び財産目録はいずれも適正であると認めました。

以上の通り報告致します。

2005年7月23日

会計監事 中山 和實
 会計監事 小澤 秀敏
 会計監事 吉江 信博
 会計監事 木村 真
 会計監事 板倉 英行

第3号議案

2005年度事業

計画案について

1. 「中央大学49年白門会」事業計画基本について

会員相互の親睦・交流、会の組織強化、中央大学および学生会他支部との交流を図るための活動を行う。

- (1) 親睦会・懇親会等の開催と各種同好会活動の実施
- (2) 会員名簿の発行と会報の発行
- (3) 新規会員の勧誘
- (4) 中央大学学生会他支部との交流

2. 2005年度事業計画（案）について

- (1) 「観桜会」への参加
- (2) 「ホームカミングデー」・「中央大学留学生」への支援10月23日（日）の参加
- (3) 「新年会」：2006年1月28日（土）の実施
- (4) 「散策の会」・「グルメの会」・「映画鑑賞会」等の会員親睦会（新企画「都内バスツアーの会」）
- (5) 関西支部結成に向けての事前活動等々

第4号議案

2005年度予算案について

〈収入の部〉

費目	予算額	摘要
会費収入	160,000	（入会金@1,000×10、会費@3,000×50）
懇親会収入	510,000	（総会懇親パーティー@5,000×20、新年会@5,000×40、バスツアー@10,500×20）
雑収入	50,000	（総会懇親パーティー寄付金他）
前年度繰越金	1,618,412	
合計	2,338,412	

〈支出の部〉

費目	予算額	摘要
通信費	70,000	（郵送料、はがき代）
事業費	230,000	（会報制作費他）
事務費	30,000	（事務用品、幹事会賃借料、交通費他）
懇親会費	510,000	（総会懇親パーティー・新年会飲食費他）
交際接待費	130,000	（125周年寄付金・留学生の集い・他支部への包み金他）
雑費	50,000	（郵便振替手数料、学員時報広告料他）
次年度繰越金	1,318,412	
合計	2,338,412	

設立5周年「49年白門会」 総会が盛大に開かれた!!

設立5周年を迎え、24名の会員が総会に集合しました。記念総会ですので初めて講演会を開きました。懇親会中に震度5の地震があり、二次会からの参加者に影響が出てしまいました。年に一度の懇親会です。不安を吹き飛ばす盛況のうちに終わりました。

設立5周年で 講演会を実施

例年は7月に入つてすぐの土曜日が定例になっていた総会も、今年梅雨明けの7月23日(土)に行いました。梅雨明けとはいえ、カッと照り付ける太陽もなく過こしやすい午



後でした。総会会場の中大理工学部校舎の5号館3階の教室には、午後3時には予定していた24名が集まりました。景気が上向いてきたのか、はたまた責任ある地位に付く人が多いのか、仕事があるので出席できない、という返事を多くいただき、日にちを変更して参加しやすいかなど目論んだ幹事会の考えが外れてしまいました。

今年は設立5周年。10周年に向けて大いに会を盛り上げていこう、という山崎会長の力強い挨拶があり、議事の進行に入りました。議長には原伸正さんがなり4つの議案の審議が行われました。2004年度活動報告を中島幹事長が、2004年度の収支報告を後藤会計部長が行い、その監査を木村真会計監事が報告、2005年度事業計画案を増田事業部長が行い、2005年度の予算案を再び後藤会計部長が行いました。4つの議案とも全員の拍手で承認されました。

30分で総会は終り、引き続き講演会が行われました。設立5周年ということもあり副会長で弁護士の山崎司平さんに「犯罪被害者支援について」と題して30分間お話をしていた

できました。

桶川ストーカー女子大生殺害事件、池田小児重傷事件における集団的加害取材(メディアスクラム)、性犯罪被害者における刑法改正案などを具体的事例をもとに犯罪被害者支援の実態を聞くことができました。「ガンバレ」という言葉は犯罪被害者を傷つける言動です、という言葉には嘘を衝かれました。優しさは同情ではない、「なんとかしてやるよ、ガンバレよ」という上から下を見るような言動は駄目で、同じ目線で共感できる言動が大事だと山崎さんは強調しました。犯罪被害者への真の支援は「被害者が、望むなら、望む時に、望む支援を」だということです。

30分という短い時間でしたが身近に存在するかもしれない犯罪被害者に対する認識を新たにした講演会でした。

地震にもめげず 二次会も盛況

恒例の記念撮影をして会場を地下1階の食堂に移し懇親会が4時すぎから始まりました。予定していた司会者が急遽欠席になり、再び原さん

が司会者になり会が始まりました。

大竹広報部長が乾杯の音頭を取り歓談に移りました。ビール、ワイン、日本酒とお酒も回りほろ酔い気分になっていった頃、正確には4時35分に寿司を取ろうと箸を伸ばした瞬間、寿司桶が逃げ出しました。酔ったのか、眩暈なのか、あるいは年のせいかと回りを見たら、皆も動きが止まっていた。すぐ地震だと気付いたのですが、地下での衝撃ならかなり大きいのではないかと不安でした。

その後東京が震度5でJ Rや地下鉄が止まっているという情報が入り



ました。大きな被害はないみたいなので会はそのまま進み、全員の挨拶が終り、恒例の校歌、応援歌を歌い、これまた恒例になりつつある小澤さんのエールでお開きになりました。

地上に出ると6時を過ぎていたがまだまだ明るい夏の夕方でした。一斉に携帯電話を操作するが地震のため掛からず、諦めて二次会会場の水道橋駅側の「藩」にゾロゾロ歩いていきました。途中の後楽園駅や水道橋駅は電車がストップしているため大混雑。二次会から参加予定の富山県からくる浜手さんは新幹線が遅れている、という連絡があり、同じく浜手さんが誘った同級の5人も常磐線に2人、地下鉄に3人閉じ込められている模様。

16人でスタートしてから30分後に浜手さんが富山の表家で採れた枝豆を御土産に、タクシーで駆け付けてくれました。それから20分後、女性3人が到着。新宿で待ち合わせて会場に向かうときに地震でJ Rがストップしたが、大江戸線が動いたので来たとのこと。また会には入っていないので是非入会するように説得。改めて全員の自己紹介が始まり、テーブルを移動しながら9時すぎまで歓談が続いた。結局常磐線の2人は二次会は断念、残念。

外に出ると、中央線の赤い電車が走っているのが見え、運転再開を確認。ダイヤは乱れているがなんとか帰宅できそうな状況になっていた。皆さん無事に帰れました。(広報部)

会員からの
エッセー

私の「スポーツで一言」

スポーツ観戦、鼻唄のチーム、部活の想い出など「スポーツ」にまつわるもの。一つは、誰にでもあるものです。会員の皆様から寄せられた、とっておきのエッセーをお届けします。(レイアウトの都合により一部調整をさせていただいた場合があります)

「アニマル」こと

渡辺長武先輩

おさむ

千葉 幸嗣 (商) 埼玉県三郷市

今から40年前、当時中学生だった小生の脳裏に焼き付いているシーンがある。東京五輪のフェザー級(62キログ)決勝で、あの「アニマル」と呼ばれた160センチの男、渡辺長武選手(中大38年卒)が、金メダルを獲得した決定的瞬間だ。

日本レスリングの黄金時代の原動力となったのが中大レスリング部時代から頭角を現した渡辺長武OBだ。当時「アニマル」と呼ばれ、後にアニメにまでなったアマレスラー。素早い両足タックルから休みなく攻めまくり、食らい付いたら最後まで絶対離さず、丸太ん棒のような太い腕で相手をねじ伏せる。その動作は獲物を狙う野生の動物のように驚くほど敏捷であった。

在学中の昭和37年、渡辺先輩は全米選手権に出場し、フェザー級で6戦ともフル勝利し優勝。それも1試合の所要時間は平均20秒だったとか。驚いた米国のマスコミは「ワ

イルド・アニマル」と呼んだという。また、技の正確さから「スイス・ウオッチ」とも評された伝説的な中大OBです。

一昨年、そんな渡辺長武先輩と直接お話しを伺う機会に恵まれ、生涯現役を目指しているレスリング人生の真髄を垣間見ることができた。60過ぎには無理と言われた世界マスターズ選手権に出場し、優勝まで勝ち得る凄さに感銘を受け、40年前にブラウン管を通して見た金メダリスト渡辺長武氏と乾杯した。

スポーツ回想

鈴木 庸郎 (法) 埼玉県さいたま市

年齢と共に変化する目的を持って行うスポーツの内、一番華やかなのは「競技」としてのスポーツであろう。特に国体参加という大目標を掲げ、友情を育んだ高校時代の軟式テニス部(今はソフトテニスというらしい)時代ほど充実した時はなかったように思う。

折も折、高2の昭和42年に埼玉県で開かれた第22回国体では、県大会予選が惜しくも団体戦3位で、出場は果たせなかった。

高校の同窓で現在もスポーツの世界に身を置いて活躍している仲間を紹介したい。彼は早大に入学後、ラグーマンとして・スクラムハーフとして、在籍中の70年、71年の大学選手権・日本選手権連続優勝を果たした。彼の名は「宿穴広朗」君。現在は三井住友銀行の役員の傍ら、(財)日本ラグビーフットボール協会の理事として、又、日本代表チーム強化委員長の職にありませぬ。

このような彼の礎を築いた源は個人的素質の他に、同じ高校の片隅で垣間見た仲間として、次のようなものを感じます。

1. ラグビー熱風土があった「熊谷」という地の利を得たこと。練習相手に事欠かず、その一つの熊谷工業高校は後に高校ラグビー大会で全国優勝を果たした。
2. 「駿馬は伯楽に依る」という諺があります。埼玉国体があり、ラグビー部のコーチが国体強化選手で良き伯楽に恵まれたこと。

人が何らかの目的を「スポーツ」に見出す限り、その手段として、人の本能の何かを燃え立たせる「スポーツ」という魔物は永遠に存在し続けるであろう。

ゴルフについて

中山 和實 (法) 東京都江東区

暫くぶりで前の日から泊りがけで群馬県にゴルフに行くことになりました。メンバーは親しい税理士さんと僕と僕の妻の3人です。

実はもう6年くらいゴルフをしていません。30代後半のサラリーマンの頃に、妻と一緒にゴルフを始め、一時期は熱中して最低1カ月1回はコースに出ました。土・日は欠かさず練習に行きました。平日の夜は家でパットの練習をしました。やがて100を切れるようになりました。

90年代のバブルの時期はハワイ、サイパン、グアム、オーストラリア、フロリダに海外旅行に行った時には必ず妻とゴルフをしました。

そのうちバブルがはじけて会社が危なくなってきました。このままのんびりしては将来が不安なので、貿易実務と英語の勉強を始めました。自由になる時間を利用して貿易実務の本を読み、NHKのラジオ英会話

を聞いたりして基礎から英語の勉強を始めました。そのため、だんだんとゴルフに行く機会が減って練習にも行かなくなりました。

47歳で会社を退職して行政書士を

開業しました。当初は仕事がなく経済的に苦しく、ゴルフどころではありませぬでした。

このころはやっと行政書士の仕事安定してきました。しかし、長年の運動不足のために体が堅くなり、肥満していることを再認識しました。ちょうど、会社で同僚だった僕より10歳以下若い人が、5年前に税理士を開業して、同じ頃ゴルフを始めました。以前よりその彼から、迷惑を掛けない程度の腕前になったので一緒にゴルフに行きましよう、と誘われていたのです。

すぐには体が動きません。これから毎日ストレッチをして体をほぐします。練習にも行きます。ゴルフクラブが使われないうちに古くなったので、新しいドライバーなどを妻と一緒に買いに行くつもりです。これを機会に体を動かすようになればよいな、と思っっている今日この頃です。

鼻唄のプロ球団はどこですか？

後藤 徳彌 (経) 東京都小金井市

私は生まれが岐阜県のため周りは中日ファンか巨人ファンが多かったのですけど、理由は全く思い出せませんが、なぜか小さい時から南海ホークス(今のソフトバンク)ファンです。当時は鶴岡監督で、選手は野村捕手とか杉浦投手や皆川投手が中心で、パリーグでは無敵でした。

でも、小学生の友人は皆中日や巨人のマーク(?)を付けた帽子を被っていたのに、田舎では南海ホークスのマークを付けた帽子は売ってなく、南海のマークを付けた帽子を被れなくて、大変寂しい思いをしていました。

又、田舎ではテレビで野球中継は中日が巨人しか放映していないため、試合の結果は翌日の早朝のテレビニュースでしか分からないので、野球のある日は毎晩寝る時も、気が気ではありませんでした。

野球といえは、我が「中央大学」が東都大学の1部リーグで優勝し、神宮球場から大学まで「ちょうちん行列」をしたことも大変楽しい思い出です。皆様も多分その行列のどこかにいて、同じ時を過ごし同じ感動をしていたのだしよな。

Queue(キュー)とNo touch

秦 英信(商) 千葉県 四街道市

6月にロンドンにいました。同時多発テロのあった10日前、爆破された地下鉄駅の3つ手前で乗り、二つ先で下車しました。そんな地下鉄とバスを乗り継いで、9時過ぎに目的地のAll England Lawn Tennis & Croquet Clubまで1km強を近所のテニス仲間のオッサンと二人で、土産物屋を冷やかしながら歩いていくと、途中でこちらに曲がれ、と熟年

の良い紳士に指示され、大きな広場に案内されました。そこにはウインブルドンテニスの当日券を求める人々の沢山の列がありました。私たちは大きな列の3番目に並び、芝生の上に座り暫くすると整理券をもらいました。Queue Cad No. 3433 株券のような立派なカードです。

16ポンドの入場券が手に入ったのは11時半。テレビで見るセンターコート、No.1コートは前の年の8月から郵便の申込み抽選でしか入手は無理。日本の杉山愛や有名選手を応援し、ビールとサンドウィッチ、No.1コートのワンセットを楽しむ会場を後にしたのは午後8時半。

この2日前にプレーさせてもらった英国南海岸のゴルフ場「East Brighton Golf Club」のホームページの道案内がユニークです。地図ではなく文章で北からのルート、東から、西からと延々と克明な説明があり、最後に南ルートは1行で「泳いで海岸に着いたら、体を乾かしタクシーを呼んでクラブへどうぞ」；その海岸は、謎のピアノマンが流れ着いたところから少し西。(最近このHPが見られませんが)

年会費7万円でプレー費は一切タダ。日本のゴルフ事情とはかけ離れた環境に羨望。スタート前にローカルルールは? と聞こうとした自分にマッタ。ゴルフはNo touchが当たり前。ところで昨日は、小金井CCで業界のコンペに優勝。いい気分

今年楽しい1週間を思い出し、寄稿させていただきます。

教養としてのスポーツ

菅納 敏恭(法) 東京都 千代田区

「教養」というものは、学校を卒業した後、残っているものを言うのだという説がある。確かに「教育がある人」と「教養がある人」とは違ふ。我々が大学に通っていた頃は教養課程というものがあり、体育学だか体育理論だという単位があった。講座名も先生の名前も忘れたが、英国でのスポーツの歴史を学んだ。所論によると、スポーツは唯一、英国で発生したというのである。

古来、どの国でも額に汗して労苦にいそむるのは下層であり、貴族、上流階級は優雅に暮らす。ところが英国だけがキツネ狩りから始まって、ゲームとして汗を流すことの快感を発見してしまった。それからテムズ川のボートレース、サッカー、クリケット、更にはサッカーの試合中、興奮した一人がボールを持って走りだしちゃったというラグビー。

そこで、「これは労働ではない」、「スポーツだ」と胸を張るのは、カネのためかどうかという1点です。それがスポーツマンシップ。でも、ちよつと臭い臭いですが、カネに身ぎれないこのスポーツマンシップという考え。

このところ、買収だ、新規参入だとかましい「プロ野球」。球団経営にあたる人達には、ビジネスだという厳しさがなく、加えてファンはひとつの興行だと割り切れず、アマチュアスポーツの影を追い求めているのではないだろうか。

体育祭雑感

井 美知子(経) 埼玉県 所沢市

9月中旬の土曜日、息子の中学校の体育祭があった。2学期制になったため、夏休みが明けると期末テスト。たつた2週間ほどの練習期間で毎年お馴染みの簡単な競技ばかりだ。それでも3年生は中学最後の体育祭とあって、各組とも応援グッズは気合いが入り、それぞれクラスの個性を出している。息子のクラス(3年1組)は屋台である。担任が居酒屋が好きというので、先生のために屋台にしたとか。のれんがかかり、メニューまで作ったぞうだ。

そんなクラスだから、午前中の終了時の得点は1桁。他のクラスは30点以上取っている。その段階で優勝はあきらめたぞうだが、午後から盛り返して最終的には3位まで上がり、結果発表では優勝したクラスより大喜びしていた。

午後の全員リレーでは、足を痛めた子がサポーターをしてスタート位置についた。顔をゆがめながら必死に走る。彼は800mリレーでも200mを走っていた。最後だから頑張ると言ったぞうだ。何となくのんびりした子たちが揃ったクラスだと思っていたが、皆やる時はやるものだ。どの競技でもあまり1位には入っていないのだが、そこそこの順位になり、見事3位に浮上。

廃止かと言われていた女子ダンス、男子の組体操も3年生だけではやることになり、練習時間がなかったわりに皆よく頑張つて、見事演技を披露。

週休2日制、2学期制の導入で学校行事が年々縮小される中、3年生の頑張りでなんとか盛り上がりつつあるよつなものだ。その3年生の受験のために行事が早められ、簡素化されているのだから皮肉なものである。

それでも一生懸命に取り組む子供達を見ていると、子供の順応性、適応能力には感心してしまう。忘れていた熱いものがそこにはある。クラスがまとまり、次の合唱コンクールに向けて、さらにクラスの団結が強まったよつだ。

学校行事を通して子供達は成長すると聞いたが、本当にぞうだと納得した。公立の中学校では、そんな学校行事が縮小されていってしまうのは本当に残念である。

友へのメッセージ

スイスの田舎道を車で走っていると、妙に懐かしい思いに駆られることがある。海辺の町で育った僕がなぜだろうと何度も思いながら、何年か過ぎた。

ここ十年か時計の撮影でスイスの工房を訪れる機会が多く、ゆうに30回は超える。そして幸いなことに依頼仕事であるために、ホテル代、飛行機賃は相手持ちだ。もちろん食事代もしかり。気持ちを通じ合った時計師の撮影をした後の夕食なんていうのは格別で、ワインもすすむ。同席する編集者とかライターとその日の成果を語り合いながら時間を忘れる。まさに至福の時。

なんてすばらしい職業に自分はいるのだろうと、自身心の中でほくそ笑みながら部屋に帰り、ベッドの中でもう一度その日のことを反芻する。飲み過ぎた酒のせいなのか、イメージはドンドン膨らみ、現実と夢の区別がなくなる微睡みの中で大学時代の親友が登場して僕に言う。

「お前のやっつることなんか時計を売らんがなのメーカーの手先じゃないか」

「風立ちぬ」の原風景

高橋 和幸(法)



ないか」

「じゃあお前はどうかんだ？ 果たして人に誇れる職業だといえるか？」その時どきの会話は変化するが、話の内容は大体こんな風である。

五十歳を過ぎた頃から、自分の職業を見つめ直すことが多い。カメラマンという職業は一見華やかそうに見えるが、その実地道な行為の連続で、データの積み重ねが経験となつて活かせられるという土壌にあるのが現実だ。もちろん僕なんかと違い才能で生きてる人は、そんな余計なことを気にしなくても良いのだろうが、いかんせん才能のない僕なんぞは、ついついそんなことを考えては深酒に浸る。

スイスの田舎町に僕の心の軽井沢がある…

さて冒頭の「懐かしさ」だが、最近学生時代に読んだ本を読み返している。そしてヨーロッパまでの機中12時間をそれに当てる。そんな中で

堀辰雄の「風立ちぬ」を持参することがあって、例の微睡みの中でそんな風景、情景が出現する。

美しい季節の中で、自分自身を小説の主人公に設定し悦んでいる。学生時代と何ら変わることもない自分の幼さに苦笑しながらも、満更でもない気分の高揚に酔いしれる。

もはや現実の軽井沢は堀辰雄の軽井沢ではなく、確固とした虚構の世界となつている。僕は心の中の軽井沢を、このスイスのフルーリエという田舎町に置き換えているのだろう。そして歳月を経て、若かりし青春時代の耽美な思い出として自身の置き場所を堀辰雄という虚構の原風景の中に求めているのかもしれない。

本を読んでは批判し合い、なじり合った友との学生時代はそのまま現実の生活でもあったはずだ。懐かしさはすなわち現実の充実感なのだろうか？

「友へのメッセージ」の原稿を募集しています。生きざま、趣味、健康など、自分の体験から滲み出るメッセージをお送りください。4000字詰め原稿用紙3枚くらいでお願いします。

事業部掲示板

新年会

今回も前回と同じ銀座の「Sunmi高松」で行います。土曜日の午後のひと時、美味しい料理とお酒で交友を深めましょう。

もちろん、二次会の用意もしております。

多数の会員の皆様の参加をお待ちしております。

日時 平成18年1月28日(土) 午後3時~5時

場所 Sunmi高松 東京都中央区銀座6-3-9

TEL 03-5268-3300

会費 5千円

今後の予定

- ①春の「お花見」
- ②グルメの会(老舗めぐり)
- ③映画鑑賞会

実施決定後、ホームページ「掲示板」に実施方法を掲載します。

※11月12日に実施した「都電ハイキング」の報告は、次号掲載します。

※事業部の活動とは別に、皆さんの計画がありましたら、ホームページ「掲示板」を使って仲間集めをしてみませんか。

永六輔さんも「待ってましたア」とご推薦

名セリフの力

—日本語をきたえる76のことば—

NHKエグゼクティブ・アナウンサー 葛西聖司 著

「知らざア言って聞かせやしょう」「お若えの、お待ちなせえ」……誰でも知っている名セリフから、日本語の豊かな表現力を学び、会話を強くなる。

四六判上製 278頁 定価1780円(税込)

展望社 東京都文京区小石川3-17 ☎03-3814-1997 FAX 03-3814-3063

主要取扱申請書類等

- ◇建設業・工事入札・産廃業・宅建業
- ◇風俗営業・会社設立・会計帳簿作成
- ◇外国人在留手続・帰化・国際結婚
- ◇遺言書作成・遺産分割協議書作成

法律相談 申請書類作成 提出手続代行

行政書士 増田勝美 電話 03-3491-9880

「49年白門会」会員名簿 (2005年11月末現在)

5年前の設立時は180名の会員でしたが、2年後にホームページを開設したり、ホームカミングデーでの呼び掛け、会員同士の紹介などで少しずつ会員が増えてきました。

現在の会員の名簿を掲載します。あなたの級友がまだ未加入でしたら是非誘っていただけませんか。あるいは同じ会社、同じ地域に未加入の同期生がいらっしゃるかもしれません。一人が一人を誘えば、会員が500名になります。これからは「交友」が大きな心の支えになります。皆様のご協力をお願い致します。

(カッコ内は旧姓です)

●法学部

赤木 広志 東京都
 有賀 義幸 千葉県
 飯田 六男 東京都
 石川 敏行 東京都
 市村 禎三郎 東京都
 伊藤 文夫 東京都
 上野 誠 東京都
 上野 光雄 埼玉県
 宇留野 典雄 東京都
 大岡(神谷) 桃恵 東京都
 大谷 洋一 埼玉県
 大竹 力三 埼玉県
 岡村 芳樹 東京都
 荻原 紀行 岡山県
 小澤(中村) 啓子 東京都
 小幡 和男 神奈川県
 葛西 聖司 東京都
 加藤 正治 東京都
 金井 貴嗣 東京都
 菅納 敏 埼玉県
 木村 真樹 広島県
 黒石 正義 千葉県
 黒澤 邦男 東京都
 後藤 香 神奈川県
 小山 雅純 群馬県
 藤佐 一和 東京都
 真田 健樹 神奈川県
 實方 英樹 神奈川県
 澤田 功 兵庫県
 杉本 和久 東京都
 杉山 政廣 東京都
 鈴木 庸郎 埼玉県
 関 雄四郎 神奈川県
 高木 潔 神奈川県
 高士 宗朗 神奈川県
 高橋 秀雄 東京都
 坪山 和郎 栃木県
 寺内 正三 栃木県
 戸田 祐一郎 東京都
 友国 博志 東京都
 中山 和實 東京都
 長澤 邦男 富山県
 長山 登美夫 茨城県
 林 弘正 東京都
 平山 公弥 東京都
 藤本 真也 千葉県
 星崎 正隆 東京都
 牧村 匠 北海道

増澤 繁二 千葉県
 益田 耕明 東京都
 松下 明夫人 東京都
 的場 勇人 東京都
 丸山 秀平 千葉県
 丸山 輪恵 千葉県
 三村 裕彦 埼玉県
 牟田 口雄 神奈川県
 茂木 孝博 大阪府
 谷治 史元 東京都
 山内 直隆 埼玉県
 山岸 平文 東京都
 山崎 正文 千葉県
 横川 高至 埼玉県
 横溝 康裕 東京都
 荒木 滋芳 東京都
 石原 明基 千葉県
 岡村(後藤) 猛 東京都
 熊谷 恒雄 千葉県
 伍井 民雄 東京都
 小林 明幸 埼玉県
 篠原 和幸 神奈川県
 柴崎 高橋 埼玉県
 高橋 鶴見 神奈川県
 中村 実弘 神奈川県
 蓮越 久義 神奈川県
 堀川 一男 東京都
 増田 美進 東京都
 宮崎 正彰 神奈川県
 村松 重樹 大阪府
 山本 健次 東京都
 石川 義一 埼玉県
 笹原 光明 埼玉県
 塩賀 哲朗 宮崎県
 田村 勝博 東京都
 東條 正隆 京都府
 中山 敏夫 群馬県
 ●経済学部
 井(外山) 美知子 埼玉県
 池田 隆雄 宮城県
 石川 晶人 神奈川県
 梅田 幸生 埼玉県
 遠藤 幸夫 埼玉県
 大野 和雄 埼玉県
 大峽 秀敏 東京都
 小澤 幹郎 愛知県
 加納 裕一 神奈川県

九鬼 温臣 東京都
 後藤 徳彌 東京都
 小林 隆宣 東京都
 佐野 伸治 東京都
 穴戸 平和 東京都
 杉山 直樹 東京都
 田沢 秀男 東京都
 田中(今村) 明夫 群馬県
 中島 章敏 東京都
 平野 敏雄 東京都
 古谷 明夫 東京都
 松平 守卓 東京都
 溝尾 保國 東京都
 宮川 昭成 東京都
 村井 成樹 東京都
 両川 厚太 東京都
 山崎 順一 東京都
 山本 和夫 東京都
 吉川 利雄 東京都
 伊藤 正典 東京都
 岩瀬 亨均 東京都
 小田 達夫 東京都
 酒井 進 東京都
 笹山 富士男 東京都
 菅沼 群一 東京都
 高柴 群二郎 東京都
 中村 才二 東京都
 長谷川 章克 東京都
 村田 真岳 東京都
 森原 真人 東京都
 鷺見 正幸 東京都
 相原 宏之 東京都
 安藤 修一 東京都
 市川 和夫 神奈川県
 井上 隆芳 神奈川県
 入野 潔 北海道
 坂本 誘造 千葉県
 佐藤 良明 千葉県
 三溝 伸正 千葉県
 鈴木 和弘 神奈川県
 土田 二男 神奈川県
 島中 龍平 兵庫県
 原 龍彦 大阪府
 平井 俊彦 東京都
 府川 龍彦 東京都
 船見 俊彦 神奈川県
 松村 龍彦 神奈川県
 岡村 俊彦 神奈川県
 村上 俊彦 神奈川県
 山口 俊彦 神奈川県
 山田(川俣) 節子 神奈川県
 ●商学部
 小澤 龍次 東京都

大坂府 木戸 幸生 東京都
 東京都 小池 勲 東京都
 東京都 佐久間 信夫 東京都
 香川県 田島 善行 東京都
 東京都 田ニヤエン MALAYSIA
 埼玉県 続橋 真一 東京都
 東京都 長地 孝夫 東京都
 東京都 秦岡 英信 東京都
 東京都 渡邊 雄一 東京都
 東京都 秋山 正一 東京都
 東京都 飯田 信夫 東京都
 東京都 板倉 隆房 東京都
 東京都 小山 尚二 東京都
 東京都 加藤 廣次 東京都
 東京都 神近 芳則 東京都
 東京都 川村 兼一郎 東京都
 東京都 黒木 次男 東京都
 東京都 佐藤 貢 東京都
 東京都 嶋田 武史 東京都
 東京都 杉山 憲義 東京都
 東京都 背戸 柳良辰 東京都
 千葉県 千葉 幸嗣 東京都
 利根川 宣保 東京都
 中野 敬司 東京都
 長津 和彦 東京都
 野口 孝史 東京都
 牧野 好孝 東京都
 松井 俊夫 東京都
 三島 壽夫 東京都
 望月 哲夫 東京都
 守富 一郎 東京都
 山田 淳一郎 東京都
 吉江 信博 神奈川県
 和田 芳幸 東京都
 有山 滋一 東京都
 江村 信一 東京都
 大田 和裕 東京都
 木島 仁 東京都
 白子 和夫 東京都
 鈴木 俊治 東京都
 根岸 悦雄 東京都
 日高 定昭 東京都
 八木 宣裕 東京都
 ●理工学部
 秋葉(白田) 文恵 東京都
 天野 茂 東京都
 石見(徳永) 望敏 東京都
 肥沼(原田) 敏子 東京都
 野尻 勝彦 大分県
 永木 道雄 神奈川県
 田中 正和 東京都

山田 正 千葉県
 岩上 光一 東京都
 岩城 和裕 静岡県
 釵持 慎一 東京都
 佐藤 信春 東京都
 柴田 明成 東京都
 高木 光昭 埼玉県
 野田 信行 埼玉県
 堀井 文雄 新潟県
 伊藤 弘良 神奈川県
 北島 景一 神奈川県
 島津 義法 埼玉県
 山根 由一 東京都
 白根 博由 神奈川県
 村上 要 富山県
 中島 哲郎 埼玉県
 橋本 素子 鹿児島
 稲村(牧) 辰男 岩手県
 新沼 富子 東京都
 三瓶 繁 神奈川県
 阿部 菜路 東京都
 阿部 純子 埼玉県
 小泉(新井) 和弘 千葉県
 佐川 美智子 埼玉県
 関口(加藤) 博則 埼玉県
 多田 逸子 新潟県
 三浦(土屋) 文子 山形県
 古岡(斎藤) みや子 東京都
 古山(並木) 子 千葉県
 菊池 まり子 神奈川県
 神田 曜子 千葉県
 横堀(石田) やす子 群馬県
 榎本 宏太郎 東京都
 加賀野 秀一 東京都
 渡邊 秀和 埼玉県
 青地(沼田) 弘子 滋賀県
 池田 和宣 東京都
 江川(藤原) 妙子 東京都
 沖田 哲雄 東京都
 軍司 和彦 茨城県
 齊藤 功 千葉県
 森本 龍次 奈良県
 駒場 徹郎 東京都
 梅村 朱美 東京都
 佐々木 幸生 神奈川県
 浜手 基親 富山県
 春田 義幸 大阪府
 峠 眞美 東京都
 宇留野(山中) 良子 東京都
 川村(浜田) 綾子 神奈川県
 牧 八郎 千葉県
 矢島 千秋 東京都

秋晴れの多摩に遊ぶ

ホームカミングデーに参加して

石川晶雄 (経済)

10月23日(日)は、新潟県中越地震からちょうど1年、京都競馬場では「デープリンパクト」が菊花賞で圧勝し3冠を達成した日でしたが、我らの中央大学のホームカミングデー



が多摩校舎で行われた日でもありませんでした。

当日は前日の小雨交じりの肌寒い曇天から、打って変わった晴天に恵まれ、多摩キャンパスは絶好の散策日和となりました。

ホームカミングデーの司会を担当する我ら49年白門会の副会長である葛西聖司NHKアナウンサーであり、おなじみの名調子での司会ぶりでした。イベントも「トークショー」の他、恒例の「中央大学スイング部演奏」「白門グリークラブ合唱」「中央大学応援団演技」に加え、「翔駒会による武蔵国府太鼓実演」があり、会場を盛り上げていました。

我ら49年白門会は、「同窓の広場」として割当てられた5号館の4階にある5402教室で、午後1時頃か

ら飲み物と菓子やつまみを用意して同期の入室を待っていました。前年よりすこし少ない19名の同期生が教室を訪れ、ビールを飲みながら往時の話題に花を咲かせました。

3時からは恒例の、お楽しみ抽選引き抽選会のため教室を閉め、メインステージに集合。残念ながら我が会からは当選者は出ませんでした。もつともその前に行われた三角籤では「生帆立貝3杯」や「デイズニードペーパー1日券」を見事に当てたメンバーもおり、49年白門会が全くツキに見放されたわけではありませんでした。

最後に茶道会によるお茶を皆で楽しみました。キャンパス内にあるお茶席の会場の「虚白庵」は、学員の寄付で平成8年に完成したものであり、その命名はやはり学員である表千家当代家元千宗左宗匠とのことです。

お茶を最後に、日の傾いたキャンパスを後に解散しましたが、楽しい秋の一日でした。

先日、日比谷公園に居た。その日は江戸天下祭が開催されて、近隣の市町村からそれぞれ見事な山車が集結し、丸の内通りから皇居前の2kmを巡行した。

この祭は2日間で70万人もの人出があるという。沿道を埋め尽くす観衆は、いやがうえでも巡行参加者を張り切らせる。1台の山車を曳くのに250人の手が必要だ。わが街に

編集 後記

いと 祭 会

誇りを持つ瞬間だろうか。

私は八王子の山車の後ろに付いて歩いていて不思議に思った。この沿道を埋める多くの人々は一体どこからやって来るのだろうか。そして、見える側も見る側も、私同様中高齢者ばかりじゃないか。家に帰って体がお祭を感じた。腰が痛い！ 足が痛い！ 疲れた！ の3本ジメだ。

考えてみれば地域文化の象徴であ

るそれぞれの街のお祭もグローバルになったものだ。それぞれの地域で育まれた文化が都会の真中で一堂に会することによって、新たな日本文化が醸成されて行くかのようだ。

私たちが最初の出会いからそれぞれの時間を過ごして来た。今また新たな出会いと交流を重ねる場が私たちに与えられていることが嬉しいものだと思った。(小林 隆喜)

※「49年白門会」の連絡先・事務局が 変わりました。

会費の納入についてのお願い

中央大学49年白門会会計担当
49年白門会は会費によって運営されています。未納入の方は、是非、会費を納めてくださるようお願いいたします。
年会費3,000円、入会金1,000円です。

なお納入方法は、下のいずれかをお選びください。

- ①郵便振替 (手数料は不要です)
振替口座番号 「00180-3-196081」
口座名称 「49年白門会」
- ②銀行振込 (振込手数料が必要です)
銀行名 東京三菱銀行日野市役所支店 普通預金「0569115」
口座名 49年白門会 代表 山崎厚太

49年白門会連絡先・事務局

※住所・勤務先変更、メールアドレスの登録、新規会員紹介、お問い合わせ等、何でもご連絡ください。

※年2回発行するこの会報へ、広告の出稿、詩、俳句、エッセー等の原稿、企画案、ご意見をお寄せください。

49年白門会幹事長 中 島 章 夫
東京都八王子市東中野742-1 電話 0426-74-3117
中央大学法学部事務局 FAX 0426-74-3123

広告募集

この会報を作る費用を広告収入である程度賄う予定です。広告スペースを5千円で提供しますのでご協力お願い致します。原稿の版下があればそのまま使いますが、無ければ広居原稿を広報部で作成します。お申し込み、ご相談は事務局までご連絡ください。